

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	9,636千円	6,654千円	10,095千円	0千円
	総人件費	41,446千円	46,493千円	46,407千円	
	総事業コスト	51,082千円	53,147千円	56,502千円	

部等名	課等名	係等名
市長公室	秘書課	秘書係・渉外係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	03	11	秘書業務に要する経費

事務事業名	01 秘書業務	指標名	-				指標種別	-				指標の概要	-					
戦略プラン	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	-	-							-
	-	実績	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
総合戦略	-	改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-						
	-		内部報告等において、真にやむを得ない理由の案件は、スケジュールの合間を利用して適切に対応する。				5月中に全課へ説明等資料の事前提出について徹底させるよう周知し、緊急性や重要度を明確化させることで、特別職の公務の効率性を高める。											
	-																	
市長公約	-	事業計画	事前調査票を元に、年間を通して特別職の日程調整を行い、スケジュールを管理する。担当課から提出された挨拶文を確認し、特別職へ手渡す。特別職が出席する会議やイベント等の公務に随行する。賀詞交歓会を、平成30年1月上旬に、市内で開催する。				事前調査票を元に、年間を通じて特別職の日程調整を行い、スケジュール管理を行う。担当課から提出された特別職挨拶文については、適宜修正の上、特別職へ手渡す。特別職が出席する会議やイベント等がスムーズに進行するよう資料の準備、役割の確認等を事前に行い、当日も公務に随行する。賀詞交歓会を平成31年1月上旬に市内で開催する。				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初			
個別計画	-										事業費(A)	6,928千円	6,555千円	10,085千円	0千円			
根拠法令等	-										国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
事業分類	D 内部管理事業	活動実績	日程調整については、年間を通じて滞りなくスケジュール管理を行った。約3,400件 特別職挨拶文については、適宜修正し、前日までに手渡した。約400件 随行については、年間を通じて課内職員が交代で行った。賀詞交歓会を平成30年1月12日にホテルグランド東雲にて実施した。参加人数552名				上半期活動実績				内訳	県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
執行体制	職員のみ										地方債	0千円	0千円	0千円	0千円			
事業の目的	特別職(市長及び副市長)が、公務を円滑かつ効率的に遂行するため。										その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円			
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>会議やイベント出席に係る日程を調整する。</li> <li>事前調査票の確認を行う。</li> <li>挨拶文等の作成を担当課に依頼し、文案調整を行う。</li> <li>特別職が参加する公務に随行する。</li> <li>賀詞交歓会を開催する。</li> </ul>	成果	特別職の公務については、効率的に遂行してもらうことができた。				上半期成果				一般財源	6,928千円	6,555千円	10,085千円	0千円			
		課題	業務報告や決裁等で、至急案件が多く、過密スケジュールが常態化している。				課題				人件費(B)	33,014千円	24,687千円	24,601千円				
										正職員	従事割合	4.00人	3.00人	3.00人				
ISO 14001	H29 環境関連性	-	事業の進捗状況				達成	改善目標の進捗状況		達成	事業の進捗状況				-	改善目標の進捗状況		-
	H30 環境関連性	-	有効性	中:適切な成果が得られている			有効性	-			H31年度当初積算根拠	-						
		効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-											
	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-												
											H31年度の方向性	-	理由	-				

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	9,636千円	6,654千円	10,095千円	0千円
	総人件費	41,446千円	46,493千円	46,407千円	
	総事業コスト	51,082千円	53,147千円	56,502千円	

部等名	課等名	係等名
市長公室	秘書課	秘書係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	03	11	秘書業務に要する経費

事務事業名	02 市長車等特別職運転・管理業務	指標名	-				指標種別	-				指標の概要	-					
戦略プラン	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	-	-							-
			実績	-	-	-	-	-	-	-	-							-
総合戦略	-	改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-						
市長公約	-	事業計画	-				-				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初			
個別計画	-		・市庁舎への送迎 ・会議及びイベント会場等への送迎				・市庁舎への送迎 ・会議及びイベント会場等への送迎				事業費(A)	2,708千円	0千円	0千円	0千円			
根拠法令等	-	活動実績	-				-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
事業分類	D 内部管理事業		・庁舎への送迎 ・会議及びイベント会場等への送迎				-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
執行体制	職員のみ	成果	-				-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円			
事業の目的	特別職(市長及び副市長)のスケジュールの履行と、安全な移動のため。		特別職の公務スケジュールに沿って安全かつ迅速に送迎することができた。				-				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円			
事業の概要	市長車及び副市長車の運転・管理業務を行う。なお、運転は基本的に、事務員1名と臨時職員1名で行う。	課題	-				-				一般財源	2,708千円	0千円	0千円	0千円			
ISO 14001	H29 環境関連性		○ 大気汚染の防止 達成				-				人件費(B)	8,432千円	7,314千円	7,314千円				
	H30 環境関連性	特別職の移動には、水素自動車のミライを使用することで、CO2排出を削減する。				-				正職員	従事割合 1.00人	1.00人	1.00人					
		評価	有効性	中:適切な成果が得られている			評価	有効性	-			時間外勤務	417.00時間	82.00時間	82.00時間			
			効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-			臨時職員等	有	有	有			
			総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-			事業コスト(A+B)	11,140千円	7,314千円	7,314千円			
												H31年度当初積算根拠	-					
												H31年度の方向性	-	理由	-			

